

WPS って

Women, Peace and Security (WPS)

知ってる？

国連とWPS - なぜ WPS が生まれたの？ -

1990年代の内戦により



1990年代 旧ユーゴやルワンダ内戦
性暴力が国際的な問題になる



1995年 世界女性会議
紛争解決の意思決定への
女性の参加増大を目指す



1998年 国際刑事裁判所規定
紛争下の性的暴力は戦争犯罪と明記



これを受けて...

2000年、国際紛争の予防・
平和維持等あらゆるレベルで
女性を「積極的主体」として
位置付けた初めての国連安保理
決議である「女性・平和・安全
保障に関する決議第1325号」が
全会一致で採択

日本とWPS - 日本政府はどんな取組をしているの？ -

- WPSに関する行動計画を策定
- 多くの大規模自然災害を乗り越えてきた経験から、
紛争のみならず災害の項目も含んでいる

WPSとは？

- 紛争、災害等発生時により脆弱な立場に置かれる女性、女児等は特に保護すべき対象であると認識して保護・救済に取り組みつつ、
 - 女性が指導的及び主体的に、紛争解決や災害対応のあらゆる段階に参加
- ➡ より持続的な平和に資することができるという考え方。



防衛省が WPS の推進に取り組む意義と必要性



- 女性は人口の約半数を占める
- 女性や女児は紛争下などで特に脆弱な立場に置かれる



ニーズを踏まえた活動の実施は

国民の保護に直接貢献



- 女性活躍推進等を通じ、多様な人材が能力を発揮できる環境を整備



- 防衛力の中核である自衛隊員の能力強化
- オペレーションの効率化

防衛力の抜本的強化



- WPS を通じて同じ価値観を持つ諸外国と協調
- 海外における自衛隊の活動をより効果的に実施するためにジェンダー視点を取り入れる



国際社会の責任ある一員として

平和と安定に貢献

自衛隊の活動は WPS のコンセプトに合致しています！

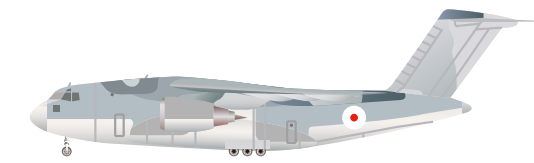


災害派遣

令和6年能登半島地震



多くの女性自衛官も精力的に支援活動を行っています。女性ならではの視点やアプローチで、避難所で被災者に寄り添ったニーズの把握を行い、必要な物資の輸送や入浴支援などを行っています。



在外邦人等輸送

外国での災害、騒乱その他の緊急事態に際し、関係省庁、関係国等と緊密に連携しながら在外邦人等の警護、救出などの保護措置又は輸送をします。

在イスラエル邦人等の輸送

女性隊員を派遣し、女性に対するきめ細やかなサポートを実施。円滑な任務輸送の実現に寄与！

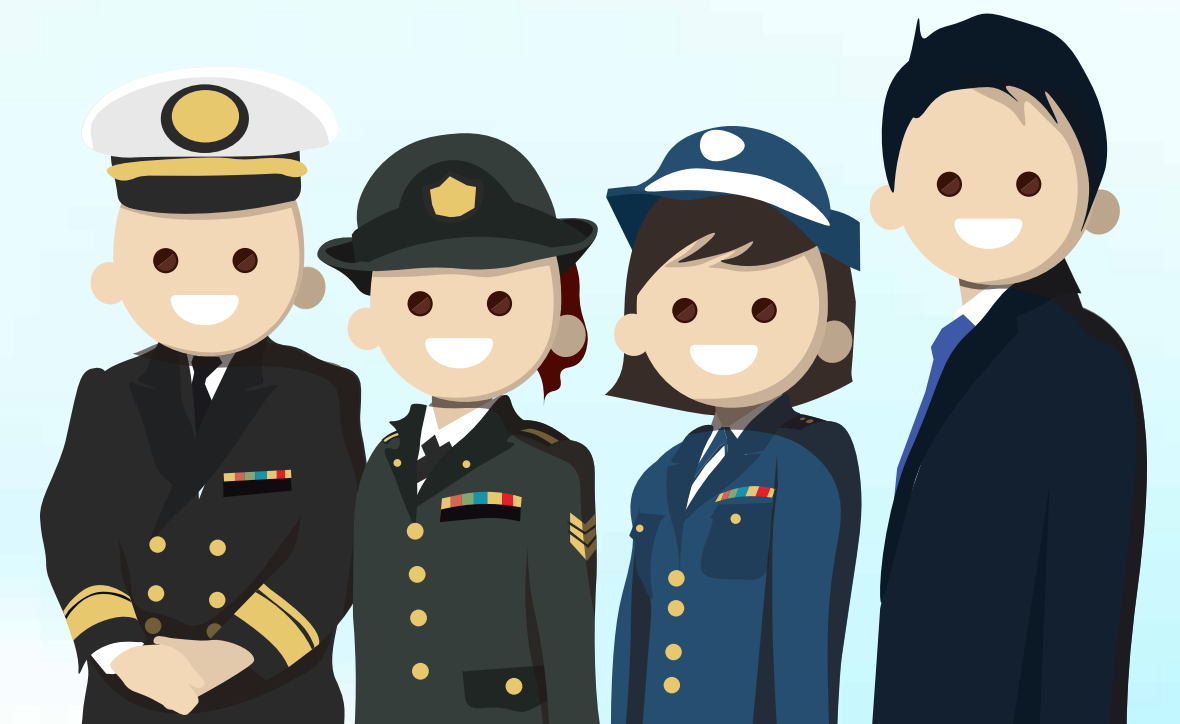


自衛官の約9割以上は男性

しかし、自衛隊が接する市民は男性と女性が約半数ずつという現実



災害派遣など国内外を通じて市民と接する活動が増えている中で、
**女性隊員の参画やジェンダー視点を
踏まえた活動がますます重要に！**



ジェンダー視点：
ジェンダーによって異なる
ニーズ・利益について
考える視点。

ジェンダー：
社会的及び文化的に形成された性別。
生まれつきの生物学的性別（セックス）
とは異なる。

防衛省・自衛隊の WPS 推進の強化に向けて

「防衛省 WPS 推進計画」の策定

組織としての 体制整備

防衛省 WPS 推進本部設置

防衛省版 WPS 推進計画
を策定。省一体となって
取組を強化



WPS 関連ポストの設置

事務官と自衛官の
ジェンダー・
アドバイザー等を
順次配置



意識改革

高官を含めた WPS 研修実施

高官自ら先頭に立ち旗振り役として
WPS を推進することが重要と確認！



国際連携

能力構築支援 × WPS

PKO や人道支援・災害
救援等の能力構築
支援プログラムの
枠組に WPS を反映



WPS セミナーの開催

国連や紛争地等の第一線で活躍する
専門家を招き、国際 WPS イベントを主催。
各国の WPS 促進に貢献